



(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課課


事業名		道路改築		路河川名等	(主)下仁田浅科線					
事業毎の通番		3	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	志賀幅幅(しかかくふく)				
事業概要	事業目的	(主)下仁田浅科線は群馬県下仁田町と佐久市街地を結ぶ主要地方道であり、大型車の交通量が非常に多い状況であるが、幅員が狭く歩道も未整備で、自動車の安全な通行、及び歩行者の安全に支障をきたしている。このため、拡幅及び歩道設置を行うことにより、通過交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図りたい。								
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 3,600台/日								
	着手年度	平成30年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.6		国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=450m W=5.5(9.25)m			380,000	209,000		153,900	17,100	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少								
	間接的効果(定量的・定性的)	大型自動車事故防止								
評価の視点	必要性	○計画交通量: 3,600台/日 ○代替道路の有無: なし ○医療・福祉・教育施設との連携: 東小学校への1次アクセス ○交通結節点アクセス: JR佐久平駅への1次アクセス ○観光振興・地域の活性化: イオン佐久平店へのアクセス、スエトシ牧場・内山牧場・神津牧場等に通じる道						評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合: 低開発地域工業開発地域 ○緊急輸送道路の路線指定: 広域避難場所である東小学校への避難経路 ○地域指定: 佐久地域定住自立圏						評価	B	
	効率性	○費用便益比(B/C): 1.6 ○事業期間: 6年間 ○工法等の比較検討: ルート案について検討あり ○他事業との連携: 他事業との連携はない						評価	A	
	緊急性	○近年の交通事故件数: 3件 ○道路環境改善: 大型車交通に対する安全性が向上 ○歩道整備: 歩道未整備区間に歩道を整備 ○現況の車道幅員、半径、勾配: 車道幅員5.0m						評価	A	
	計画熟度	○事業情報の共有: H25.11.1に現地立会実施、地元区の見直しにより地域に周知 ○地域の取り組み: 志賀・新子田バイパス建設促進期成同盟会(設立H6頃)から建設部長へ要望がある ○地域の合意形成: 現道の危険解消の必要性について認識が共有されている ○住民との協働: 沿線アダプトシステムの取組があり、当該区間整備後も同様の取組を予定						評価	B	
	所管課意見	事業の必要性、効率性及び緊急性が高いため、平成30年度から新規事業化したい。						採択状況	○	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。									



位置図



状況写真



標準横断面図

事業概要説明図表

事業区間 L=450m W=5.5(9.25)m

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

(主)下仁田浅科線は群馬県下仁田町と佐久市街地を結ぶ主要地方道であり、大型車の交通量が非常に多い状況であるが、幅員が狭く歩道も未整備で、自動車の安全な通行、及び歩行者の安全に支障をきたしている。本事業区間の前後にある新子田地区、駒込地区はハイパスによる道路改築が完了しており、当該区間が路線のボトルネックとなっている。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

本事業区間は沿線に人家が密集しており、幅員が狭いにもかかわらず大型車の交通量が多い。また、付近に小学校があることから、歩行者の保護が求められている。このため、地元からの要望も強く、期成同盟会、佐久市から毎年道路改良の要望があげられている。

③事業説明等の経緯

毎年実施されている期成同盟会総会及び、H26.3.23には地元区の総会において当所職員が事業の進捗状況について説明を行っている。また、H25.11.1には期成同盟会役員とルート検討のための現地立ち合いを行った。現在実施中の当該区間終点側370mの現道拡幅事業は、H29完了予定であり、佐久市からは早期の事業化を求められている。

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

他事業等との関連はないが、市において通学路交通安全プログラムへの追加を検討中。

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

当該地区沿線には、歴史的に重要な建造物、及び神社・仏閣が数多く存在している。また、自然豊かな里山地区でもあるので、周辺の環境に配慮した計画を検討する。

⑥地域活性化への影響と配慮

本事業により交通の円滑化と歩行者の保護が図られ、地域の観光ネットワークにも寄与するものと期待される。

⑦その他

事業周辺環境

事業代表地点の緯度経度	北緯: N 36° 14' 55"
	東経: E 138° 31' 18"